

事業報告

令和6年度 新任社会教育行政職員・新任社会教育主事研修会

日時：令和6年5月9日（木）10：00～15：50

会場：大分県立図書館 第2・3研修室

参加者：40名（14市町村34名、県6名）

<趣旨>

生涯学習・社会教育を推進するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけることにより、社会教育行政職員及び社会教育主事としての使命と役割を理解します。

そして、参加者同士の交流により人的ネットワークの構築を目指します。

【研修1】10：15～11：45

講義：生涯学習・社会教育の基礎知識

講師：大分大学 教育マネジメント機構基盤教育センター 教授 岡田 正彦 氏



午前中、大分大学教授の岡田先生の講義を受講しました。この春から生涯学習・社会教育行政の仕事をはじめたばかりの皆さんに向け、あたたかでわかりやすいメッセージ（激励も込）を送ってくれました。

全体像がつかみにくい社会教育事業の特性を踏まえつつも、職場で、地域で、さまざまな人とつながりを持って行くことの大切さを実感できる講義でした。

【研修2】 12:45～15:50

演習：社会教育、1日よろず相談 ～社会教育事業の役割と意味について考えよう～

第1部 私たちが直面しているコト

第2部 ナナメから見たあなたの事業

第3部 あなたの事業のウェルビーイング

助言者：大分大学 教授 岡田 正彦 氏

進行：大分県立図書館学校・地域支援課 社会教育主事



午後は、演習を実施しました。職場で担当している事業について、ワークショップを通じ、様々な角度から眺めてみることに挑戦しました。3時間の長丁場でしたが、最後まで楽しく、互いに学び合うことができました。

<参加者感想>

- 午前のみでの参加でしたが、事業を実施していく上で大切な視点を教わることができて、大変有意義でした。参加させていただいて、本当に良かったです。早速、今後の業務に活かしていきたいです。
- スグキクや Google フォーム等で考えを共有しながらの研修が大変分かりやすく楽しく学ぶことができました。また、岡田先生の講義で社会教育の基礎知識を再確認することができ大変参考になりました。ありがとうございました。
- 館長になって初めての出張でした。有意義でした。
- 答えの曖昧な社会教育現場において、一つの筋道をお示し頂き感謝します。
- 楽しく受講することが出来ました。繋がるのが社会教育に重要であることがわかる内容でした。
- 社会教育について様々な意見を聞いてよかったです。
- あらためて、社会教育は難しいと感じました。しかし、非常にやりがいがあるので、今後も頑張っていきたいと思いました。
- 午後の講義、興味深いお話を沢山聞くことができました。グループワークも他所属の方々との交流の場になりました。